



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流  
 コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 臼居 賢  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 (氏名) 氣賀 洋一郎 TEL 045-532-1982  
 副本部長 経営企画・経理・  
 財務・ESG担当

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,844	△14.3	625	△41.7	706	△27.3	339	△40.8
2020年3月期第1四半期	25,491	△1.9	1,071	9.6	971	12.6	572	13.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 423百万円 ( 155.4%) 2020年3月期第1四半期 165百万円 ( △25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.59	9.57
2020年3月期第1四半期	16.22	16.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	76,223	51,469	60.6	1,306.54
2020年3月期	78,452	51,565	58.9	1,307.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 46,196百万円 2020年3月期 46,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
2021年3月期	ー				
2021年3月期 (予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	44,000	△14.1	1,000	△51.6	900	△53.8	400	△64.7	11.31
通期	93,000	△7.7	3,200	△22.3	3,100	△20.2	1,600	△33.0	45.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	35,474,400株	2020年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	116,856株	2020年3月期	116,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	35,357,544株	2020年3月期1Q	35,318,927株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月～6月）の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、欧米において製造業の生産停止や個人消費の落ち込みにより景気が低迷しました。中国では3月から徐々に経済活動が再開されましたが、国内及び輸出の需要減少が続いており、成長が鈍化しています。日本経済も、輸出の減少が大きいことに加えて、4月以降は特に個人消費の減少が大きく、景気は低調に推移しました。

このような事業環境下、当社は世界の各地域で新型コロナウイルス対策に十分な注意を払い、各国によって異なる規制に対応しながら、顧客のサプライチェーンの寸断が発生しないよう物流事業者としての責任を果たすべく、事業継続に取り組んでおります。

新型コロナウイルスによる制約はありますが、本来の事業活動に注力すべく、3カ年の第4次中期経営計画2年目の当期は、次の戦略・施策を推進し、グローバルにビジネスの拡大を図っています。

①G T B（Get The Business / 市場と商品の拡大）：HUB拠点の機能拡充とネットワークの強化。車載・産機市場向け事業の加速。サービスメニューの充実と提案力の強化。

②G T P（Get The Profit / 間・直の生産性向上）：IT・自動化の進化と導入拡大。資本効率重視と確実な刈り取り。改善活動のレベルアップ。

③G T C（Get The Confidence / 選ばれる会社）：人財強化と従業員の負荷軽減。品質第一で顧客満足の実現。ESG視点での体制構築と取り組みの向上。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高21,844百万円（前年同期比 14.3%減）、営業利益625百万円（同 41.7%減）、経常利益706百万円（同 27.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益339百万円（同 40.8%減）となりました。

#### <セグメントの概況>

##### ①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界においては、新型コロナウイルスの影響による顧客の工場の操業停止により、スマートフォンや自動車向けの生産が減少し、電子部品の荷動きが減少しました。

当社では、新型コロナウイルスの影響で、貨物取扱量の需要が一時的に減少している中であっても、従来より継続してきた生産性向上の取り組みの一環として、大阪では新たに大型の自動化設備を導入した倉庫を稼働しました。また、これまで制限されていた拡販活動も徐々に再開し、物流品質のみならず、顧客とのコミュニケーション、サービスのレベルの向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、貨物取扱量の減少に対応すべく生産性向上によるコスト削減に取り組みましたが、電子部品全体の荷動きが停滞し、減収減益を余儀なくされました。

当セグメントの売上高は11,296百万円（前年同期比 13.4%減）、営業利益は209百万円（同 72.0%減）となりました。

##### ②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネス、物流改善を意識した包装資材の提案営業を進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響により特に欧米の自動車メーカー向けの需要減と海外顧客の現地調達の進行に伴い売上高が減少し、減収減益となりました。

当セグメントの売上高は3,806百万円（前年同期比 38.4%減）、営業利益は64百万円（同 52.4%減）となりました。

##### ③消費物流事業

消費物流分野では、小売企業の宅配サービスや通信販売ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境において、当社グループで消費物流を担う㈱流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、医薬品関係の商品センター業務の拡販、新型コロナウイルスの影響で生協関係の宅配需要が増加したことなどにより、増収増益を確保することができました。

当セグメントの売上高は6,740百万円（前年同期比 7.7%増）、営業利益は350百万円（同 87.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較した当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産が、売上減に伴う受取手形及び営業未収金の減少などにより、2,260百万円減少しました。固定資産は、ソフトウェアの取得により無形固定資産が増加し、31百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比2,228百万円減の76,223百万円となりました。

負債については、仕入減に伴う営業未払金の減少などによって流動負債は1,883百万円減少しました。また、固定負債もリース債務を含む其他負債の減少などにより250百万円減少し、負債合計は、前連結会計年度末比2,133百万円減の24,753百万円となりました。

純資産については、利益の確保に対し、当社の配当金支払、子会社における外部株主への配当金支払などによって、前連結会計年度末比95百万円減の51,469百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比1.7ポイント上昇し、60.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響につきましては、世界全体で感染防止と経済活動の両立の動きが出ており、製造業の工場の稼働再開など、物流需要も徐々に戻っていくものと予想しております。一方で、感染者数が一旦減少に入った地域でも再び感染拡大が見られるなど、第2波も懸念され、依然として不透明な環境下でもあります。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年6月3日付「2021年3月期業績予想および配当予想に関するお知らせ」で開示した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,612	17,681
受取手形及び営業未収金	15,356	13,297
商品	1,706	1,648
その他	2,338	2,124
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	36,988	34,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,500	12,334
土地	16,729	16,754
その他(純額)	5,999	6,027
有形固定資産合計	35,228	35,116
無形固定資産		
その他	3,453	3,504
無形固定資産合計	3,453	3,504
投資その他の資産		
投資有価証券	80	82
その他	2,702	2,793
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,781	2,874
固定資産合計	41,463	41,495
資産合計	78,452	76,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	10,089	8,123
短期借入金	2,815	2,814
未払法人税等	610	429
賞与引当金	1,651	980
役員賞与引当金	—	9
その他	5,139	6,065
流動負債合計	20,306	18,423
固定負債		
役員退職慰労引当金	62	23
退職給付に係る負債	2,433	2,463
その他	4,084	3,842
固定負債合計	6,580	6,330
負債合計	26,887	24,753

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	1,945	1,945
利益剰余金	42,291	42,277
自己株式	△81	△81
株主資本合計	46,504	46,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21	△20
為替換算調整勘定	△66	△92
退職給付に係る調整累計額	△188	△181
その他の包括利益累計額合計	△276	△293
新株予約権	53	53
非支配株主持分	5,283	5,220
純資産合計	51,565	51,469
負債純資産合計	78,452	76,223

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	25,491	21,844
売上原価	22,780	19,511
売上総利益	2,711	2,333
販売費及び一般管理費	1,639	1,707
営業利益	1,071	625
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	2	1
為替差益	—	60
その他	39	87
営業外収益合計	55	167
営業外費用		
支払利息	64	63
為替差損	23	—
支払手数料	33	—
その他	33	22
営業外費用合計	155	85
経常利益	971	706
特別利益		
固定資産売却益	3	1
受取保険金	0	—
その他	0	—
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	974	704
法人税、住民税及び事業税	318	347
法人税等調整額	△25	△94
法人税等合計	293	253
四半期純利益	681	451
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	572	339
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	1
為替換算調整勘定	△507	△37
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	△515	△28
四半期包括利益	165	423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203	321
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	101



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,049	6,183	6,258	25,491	—	25,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,049	6,183	6,258	25,491	—	25,491
セグメント利益	748	136	186	1,071	—	1,071

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,296	3,806	6,740	21,844	—	21,844
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,296	3,806	6,740	21,844	—	21,844
セグメント利益	209	64	350	625	—	625

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。